

令和5年度

シニア

災害ボランティア

シンポジウム in 和歌山

いつか来る「その時」のために



日時

令和5年 **12月2日** 土

13:30-16:00 (開場13:00)

会場

かつらぎ総合文化会館 AVホール
和歌山県伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町2454番地

主催

和歌山県
一般財団法人地域社会ライフプラン協会

共催

和歌山県社会福祉協議会 (和歌山県災害ボランティアセンター)
かつらぎ町社会福祉協議会

プログラム

13:00

開場

13:30-13:40

開会挨拶

13:40-14:40

第1部 講演

世代をこえて防災について楽しく話し合う場づくり

講師 福本 壘(ふくもと・るい)氏 / 長岡造形大学 造形学部 建築・環境デザイン学科 准教授

14:40-14:50

休憩

14:50-15:50

第2部 パネルディスカッション

災害とボランティア 6月2日の豪雨災害から学ぶ

15:50-16:00

閉会挨拶



参加無料
定員100名

手話通訳
要約筆記
あり



※このシンポジウムは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

開催趣旨

和歌山県は、南海トラフで発生する地震津波により、大きな被害を繰り返し受けてきた県であり、風水害においても、台風に伴う豪雨により甚大な被害がもたらされた平成23年9月の「紀伊半島大水害」は、10年以上が経過した今も決して忘れることはできません。大規模災害に見舞われたとき、ただちに復旧・復興にとりかかることが大変重要です。多くのボランティアの力により、地域活力が失

われることなく、これまで以上に地域の強い結びつきに支えられた社会として復興することが期待されます。

このような状況を踏まえて、特にシニア世代の方を中心に、災害ボランティアへの参加を考えてもらうために、被災地でのボランティア活動や地域における防災・減災活動を支えるボランティアの役割を知ってもらうシニア災害ボランティアシンポジウムを開催します。

講演



テーマ 世代をこえて防災について楽しく話し合う場づくり

講師 福本 壘 (ふくもと・るい) 氏 長岡造形大学 造形学部 建築・環境デザイン学科 准教授

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。防災士、専門社会調査士。「コミュニティデザイン」「防災まちづくり」「アートコミュニケーション」「空き家・空き空間の再生」を研究テーマとして取り組む。生きる力の原動力となる「原体験」の創出を目指し、人々が元気になる場づくりに没頭中。防災分野では日常では話題に出にくい「身近な危険」について体験談を共有する場づくりが可能な「防災トランプ」を開発し、トランプを楽しみながら世代をこえて防災について話し合う場づくりに取り組む。グッドデザイン賞、文部科学大臣表彰 科学技術賞、東京大学総長大賞、都市計画学会賞、防災まちづくり大賞消防庁長官賞など受賞多数。

パネルディスカッション

テーマ 災害とボランティア 6月2日の豪雨災害から学ぶ

講演講師の福本氏にはコメントーターとしてご登壇いただきます。

コーディネーター 山本 幸則 (やまもと・ゆきのり) 氏
かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長

パネリスト 西村 正俊 (にしむら・まさとし) 氏
老人クラブ 米寿会 元会長

コメントーター 福本 壘 (ふくもと・るい) 氏

パネリスト 竹本 郁世 (たけもと・いくよ) 氏
かつらぎ町社会福祉協議会 地域係長

参加申込

和歌山県環境生活部県民局県民生活課

TEL:073-441-2598 FAX:073-433-1771

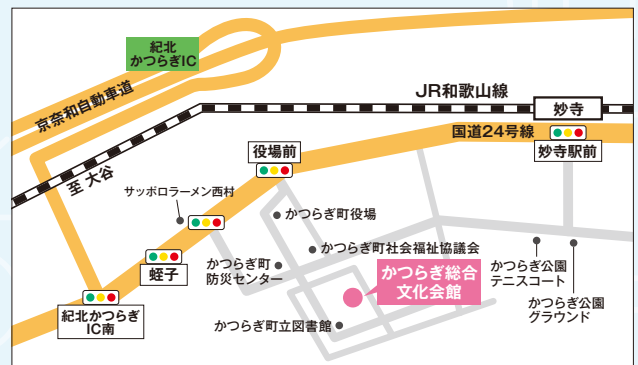
Eメール:e0313001@pref.wakayama.lg.jp

FAXは下記フォームにご記入の上、お申し込みください。

※お申込みされた方への整理券等の発行はいたしません。直接、会場へお越しください。

※気象状況により、やむを得ず中止することがあります。中止の際は、メールにてお知らせいたします。メールアドレスの記載がない方には、電話にてご連絡をいたします。

交通アクセス



- 公共交通機関をご利用の場合…JR和歌山線 妙寺駅から徒歩15分
- お車をご利用の場合…京奈和自動車道紀北かつらぎICより約5分

申込締切：令和5年11月29日(水)

シニア災害ボランティアシンポジウム in 和歌山 FAX 申込書

※個人情報の収集、利用については、当シンポジウムに係る事務に必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者氏名	所属	電話番号	メールアドレス

和歌山県環境生活部県民局県民生活課 FAX: 073-433-1771